

平成 28 年度双葉電子記念財団顕彰事業

*衛藤細矢記念賞受賞者 2名

尾松 孝茂(オマツ タカシゲ)

現所属：

千葉大学大学院 融合科学研究科長・教授

業績：

我が国初の 100W 級高平均出力ピコ秒レーザーをはじめ、新しいレーザー（トポロジカル光波）の開発とその利用技術に貢献。『光渦』に関する先駆的研究を推進し、「キラルフォトニクス（「光渦」を駆使した光科学）」という新しい研究分野を開拓。「光渦」を照射すると金属・シリコン・有機材料などの物質が「光渦」のキラリティーを受け取ってナノサイズのキラルな螺旋構造体へ変形するという新規物理現象を世界で初めて発見し、そのメカニズムを光輻射力理論により解明。若手研究者の育成にも尽力。

既受賞：

応用物理学会フェロー表彰(2013年)、APEX・JJAP 編集貢献賞 (2014年)、文部科学大臣表彰科学技術賞(2016年)、米国光学会 (The Optical Society, OSA) フェロー表彰 (2016年)

宮 進(ミヤ ススム)

現所属：

千葉県立東総工業高等学校 機械情報部顧問 進路指導主事

業績：

ロボット製作を通して高校生へのものづくり教育を指導。全国高校生のロボット競技の振興に努め、千葉県の高中生ロボット相撲大会では12連覇、平成18年には高校生ロボット相撲全国大会で3連覇を達成。地域活動として地域の小学生、中学生へのものづくり出前教室の開催などを実施。指導を受けた生徒は、現在企業内でのエンジニアや教員となって活躍している。

既受賞：

平成10年全日本ロボット相撲全国大会 科学技術長官賞受賞、平成17年千葉県科学技術功労者表彰、平成23年文部科学大臣優秀教員表彰

*平成28年9月より「衛藤細矢記念財団賞」は、「衛藤細矢記念賞」に改称されました。